

おうちで百人一首

ひやくにんいつしゆ

中・高学年向け

〽 百日後にマスターするわたし

ひやくにちご

四日目 〽

今日の一首

猿丸 たいふ
大夫

上の句

奥山に おくやま

紅葉踏み分け もみぢふ わ

鳴く鹿の な しか

下の句

声聞く時ぞ こえ どき

秋は悲しき あき かな

歌の意味

秋が深まってくところは、それだけでも寂しいのに、山の奥から紅葉の落ち葉を踏みながら、一人ぼっちで鳴いている鹿の声が聞こえてくるとますます寂しく感じられます。

まとめしき！

「もみぢ」は元々、木の葉の色が変わっていくという意味の「もみづ」という言葉からできたそうです。

かい こえ だ
3回、声に出して
よ
読んでみよう！



五日目の歌は・・・

朝ぼらけ ありあけ つき
有明の月と 見るまでに
吉野の里に 降れる白雪